

成績評価基準「デジタルイメージング」(担当: 広川)

学習内容	評価の割合	C (基礎知識)	B (基本操作)	A (作品制作)	S (創造力・表現力)
ペイント系ソフト (イラスト)	15%	ピクセルやビットマップ画像について理解できる。	Photoshopの描画ツールを使える。	Photoshopの描画ツールを使って、イラストを描ける。	Photoshopの描画ツールを使って、独自の表現でイラストを描ける。
ペイント系ソフト (画像の合成)	15%	画像の補正、合成やレイヤーについて理解できる。	Photoshopを操作して、画像の補正ができる。	Photoshopを操作して、画像の切り抜きや合成ができる。	Photoshopを操作して、画像の切り抜きや合成ができる。
ペイント系ソフト (画像解像度)	15%	画像解像度、トリミングなどについて理解できる。	Photoshopを操作して、画像のキャンバスサイズ変更やトリミングができる。	webや印刷など目的に合わせて画像解像度の変更やトリミングができる。	表現に合わせて適切に画像解像度の変更やトリミングができる。
ドロー系ソフト (イラスト)	10%	線・図形の成り立ちおよびベクトル画像について理解できる。	Illustratorを操作して、直線や簡単な幾何学図形を描画・編集できる。	Illustratorを使って、自由に線や図形を描画・編集してロゴやピクトグラムなどを制作できる。	独自の表現で、自由に線や図形を描画・編集して作品を制作できる。
ドロー系ソフト (地図)	15%	地図の内容をラフスケッチにまとめ、制作手順を考えられる。	Illustratorを操作して、簡単な地図が描ける。	多様なグラフィック要素を使って、地図が描ける。	多様なグラフィック要素を使って、高度な(正確性・表現性)地図が描ける。
グラフィックデザイン	30%	自らテーマを設定し、内容をスケッチにまとめ、画像を用意し、制作手順を考えられる。	PhotoshopやIllustratorを使って、文字・イラスト・写真を配置して、グラフィックを制作できる。	これまでの基本的技術を使って、グラフィックデザインの作品を制作できる。	独自の表現で、グラフィックデザインの作品を制作できる。